

株式会社日本海水 赤穂工場
— 塩の生産量が累計 1,000 万トン突破 —

この度、株式会社日本海水 赤穂工場の塩の生産量が累計 1,000 万トン突破いたしました。日本海水グループの原点でありビジネスの中核と成す塩事業は、日本の塩造りの伝統と誇りを受け継ぎ、高い技術で安心・安全な塩製品の安定供給に努めています。



赤穂工場

— 概要 —

事業内容：塩および副産物（苦汁・塩化カリウム）の製造・販売

再生可能エネルギーによる発電並びに電力・蒸気の製造・販売

従業員数：205 名（内、塩製造従事者 162 名）

生産能力：塩 約 23 万トン/年

生産設備(塩製造)：イオン交換膜透析設備、真空式 4 重効用蒸発缶、流動乾燥機、計量包装機

— 沿革 —

1965 年：赤穂工場の前身 赤穂海水化学工業株式会社設立（後の赤穂海水）

1967 年：赤穂工場にてイオン交換膜法での日本初の商業運転開始

1972 年：日本国内にイオン交換膜法の全面導入、製塩企業 7 社選定

年間生産量 15 万トンの新工場完成

2004 年：株式会社日本海水発足（新日本ソルトと赤穂海水が合併）

2007 年：エア・ウォーターグループに加わり現在に至る

— 記念式典 —

赤穂工場では 1,000 万トン突破を祝う記念式典が挙行政され、記念樹と記念プレートが設置されました。

